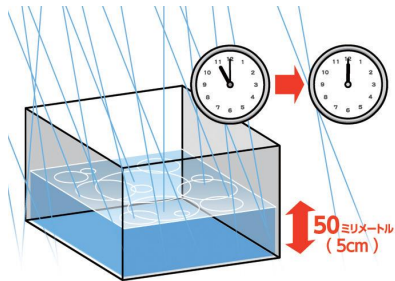


洪水について

●降水量とは
降った雨がどこにも流れ出る事がなく、その場所にたまった場合の水の深さを表し、単位はmm（ミリメートル）が使われます。



やや強い雨
(10mm ~ 20mm 未満)

地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。

強い雨
(20mm ~ 30mm 未満)

土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小さな川では氾濫、がけ崩れの心配もあります。

激しい雨
(30mm ~ 50mm 未満)

激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。

非常に激しい雨
(50mm ~ 80mm 未満)

滝のように降り、あたりが水しぶきで白くなります。屋内で寝ている人の半数が気付くほどの激しい雨です。

猛烈な雨
(80mm 以上)

息苦しくなるような圧迫感があります。大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

局地的大雨(ゲリラ豪雨)から身を守る

天気急変の原因は「積乱雲」(せきらんうん)という雲です。発達した積乱雲は、時に「急な大雨」「雷」「ひょう」「竜巻」などの激しい現象を引き起こし、これらによって毎年のように死傷事故が起きています。



発達した積乱雲の外観

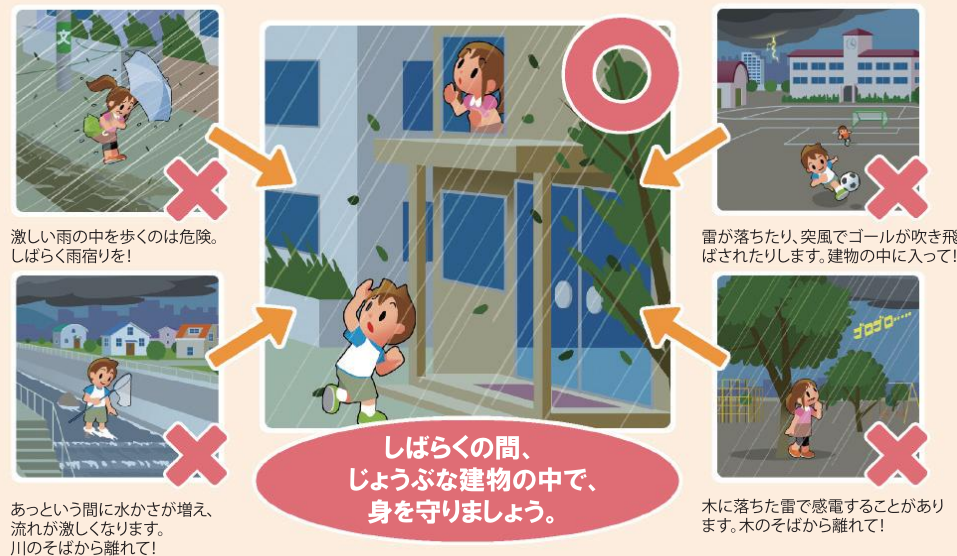
右図の内容は、これらの事故を防ぐために、チェックすべきこと、とるべき行動をまとめています。しっかりと確認しましょう。

こんな変化を感じたら、それは積乱雲(入道雲)が近づいてくるしるしです。まもなく、激しい雨と雷がやってきます。竜巻がおそってくるかもしれません。



真っ黒い雲が近づいてきた 雷の音が聞こえてきた 急に冷たい風が吹いてきた

すぐに危険な場所から離れて、安全な場所に避難しましょう！



出典：気象庁ホームページ

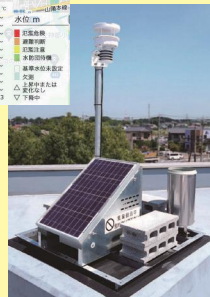
河川の水位情報

CHECK! POTEKA(ポテカ)を活用してみよう。

相生市内に2箇所設置されている超高密度気象観測システム(POTEKA)は、雨量だけでなく、温度、湿度、気圧、風向風速などリアルタイムな気象状況を知ることができます。ゲリラ豪雨のような局所的な気象の急変や熱中症の危険度など、現在の気象状況をピンポイントで把握して、情報を有効に活用してください。

<http://www.potekanet.com/>

ポテカネット 検索



堤防

氾濫発生

氾濫危険水位

河川が氾濫するおそれのある水位

氾濫警戒水位

避難情報発表の目安となる水位

氾濫注意水位

河川の氾濫の発生を注意する水位

水防団待機水位

水防団が待機する目安となる水位

通常水位

警戒レベル5相当

警戒レベル4相当

警戒レベル3相当

警戒レベル1・2相当

命を守るための最善の行動をしましょう。

市からの避難指示に従い、指示のない場合は自らの判断で行動しましょう。

高齢者・要配慮者の方は避難を開始しましょう。

ハザードマップで河川の洪水浸水区域や避難先、避難経路を確認しましょう。